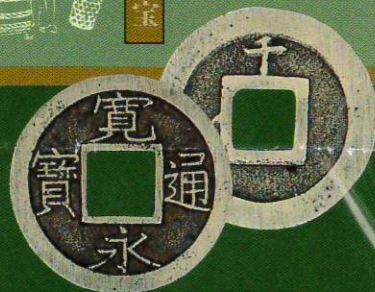


市制60周年記念企画展

貨幣の歴史



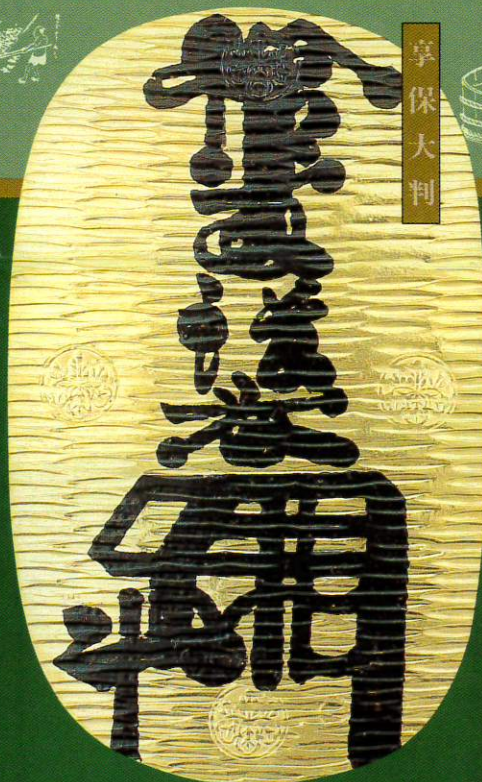
寛永通宝



天保小判



享保大判



元文小判



升屋札



細倉当百



平成5年 **8月27日** 金 **9月23日** 木

観覧 午前9時～午後4時30分

無料 ■ただし入場整理券が必要です。

入場整理券は下記の所で8月17日から配布致します。
▶1市9町各公民館・石巻市図書館・石巻文化センター◀

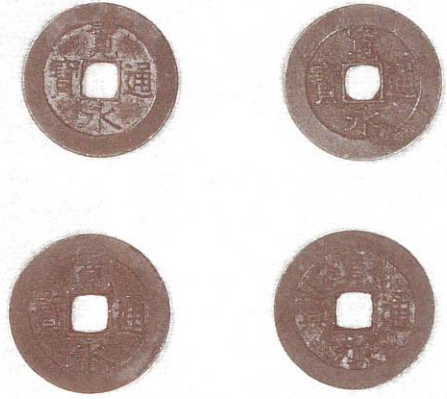
休館日 8月30日・9月6日・13日・16日・20日

後援 河北新報社・石巻新聞社・石巻日日新聞社
三陸河北新報社・NHK仙台放送局

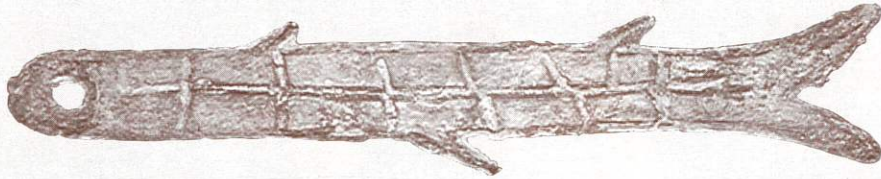
石巻文化センター
〒986 石巻市南浜町一丁目7-30 TEL 0225-94-2811(代)



ひびり
▲日秀西遺跡出土と同銀銭 千葉県立房総風土記の丘所蔵



▲寛永通宝四文銭 山本史郎氏所蔵



▲魚幣(中国・周時代) 松谷英世氏所蔵

〈開催趣旨〉

貨幣は、経済・商品流通の根幹として、不可欠のものです。貨幣はどのようなものでも交換できることから、商品生産が急速に拡大・発展するなど、貨幣の出現が人間社会に及ぼした影響は図り知れないものがあります。

わが国で貨幣が最初に造られたのは8世紀のことですが、貨幣の本格的な流通・発展を見たのは、江戸時代になってからのことです。このような、日本で使用された多種多様な貨幣を通じて、貨幣が果たした経済的・政治的な役割を考えたいと思います。

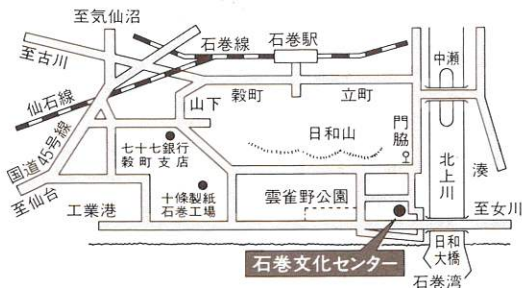


▲銭繙藁 毛利伸氏所蔵

●交通案内

- 1) 市内循環バス利用の場合(石巻駅前/バス停より)山下廻り、門脇廻りとも日輪漁業前下車、徒歩5分
- 2) タクシー利用の場合 石巻駅から約10分

●位置図



▲秋田鑄銭 山本史郎氏所蔵